



10月号

麻布幼稚園だより

港区立麻布幼稚園
園長 佐藤 幸子

園庭で生き物と触れ合って

園長 佐藤 幸子

暑さもやっと和らいできました。夜は虫の鳴き声も聞こえています。

子どもたちは、朝登園すると早速、したい遊びを見つけて遊び始めています。園庭や植え込みでは、虫が大好きな子どもたちが、虫探しを始めました。「わあ、セミだ！」という声を聞いて見に行くと、なんと！羽化する前のセミがいるではありませんか。子どもたちは、モゾモゾ動くセミの幼虫を取り囲んで見ていました。見つけたのがうれしくて、友達や先生に知らせに行きます。その声を聞きつけた子どもたちが興味をもって集まってきました。「あのね、これからセミが出てくるんだよ」「夜になったらセミになるのかな」と話しています。担任が「触らないで静かに見てあげて」と伝えました。子どもたちは、その言葉を受け止めて、じっと見ていました。子どもたちのセミの幼虫を大切にしようという気持ちが見て取れました。

他にも、「先生、見て、カエルを捕まえたよ」「5匹だよ」と、2人で飼育ケースに入れたカエルを見せてくれました。担任に相談すると、カエルは動く虫しか食べないことが分かりましたが、大好きないきものを捕まえて、一緒にいたい気持ちを受け止め飼うことにしました。子どもたちは、カエルのために虫を捕まえて食べさせましたが、小さな虫しか食べられません。担任は、子どもたちにこのままだと、カエルがお腹を空かせて死んでしまうかもしれないことを伝えて、逃がすことにしました。命の大切さを感じられるように働きかけ、飼うことは命を預かることだと知る機会となりました。

麻布幼稚園は、都会にあります。他にもカマキリやカナブンなどいろいろな虫がいます。小さいながらも豊かな自然の中で、子どもたちは様々な経験をしています。

先日は世界陸上2025が行われました。女子マラソンで7位に入賞した小林香菜選手は、走ることが大好きで、楽しく走っているうちに日本代表になったそうです。子どもたちも得意なこと好きなことを十分に楽しむことで様々な力がつき、伸びていきます。教職員一同、一人ひとりの興味関心を探りながら環境を整えて参ります。子どもたちの面白いを一緒に楽しんでいきましょう。



むしたちのおうち



セミの幼虫を見つけたよ！



カエル捕まえたよ！